

漁況情報 (1998年上半期)

1998年9月

その1

沖縄県水産試験場

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号

電話 098-994-3593・3597

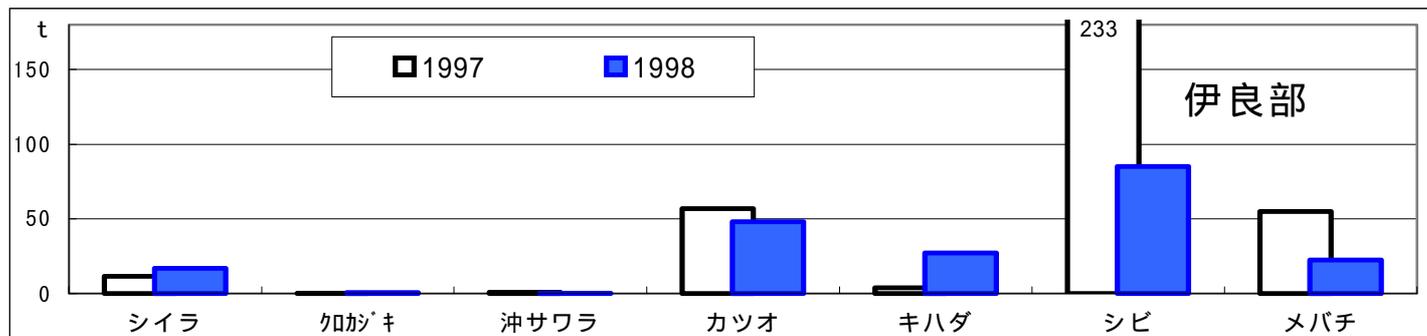
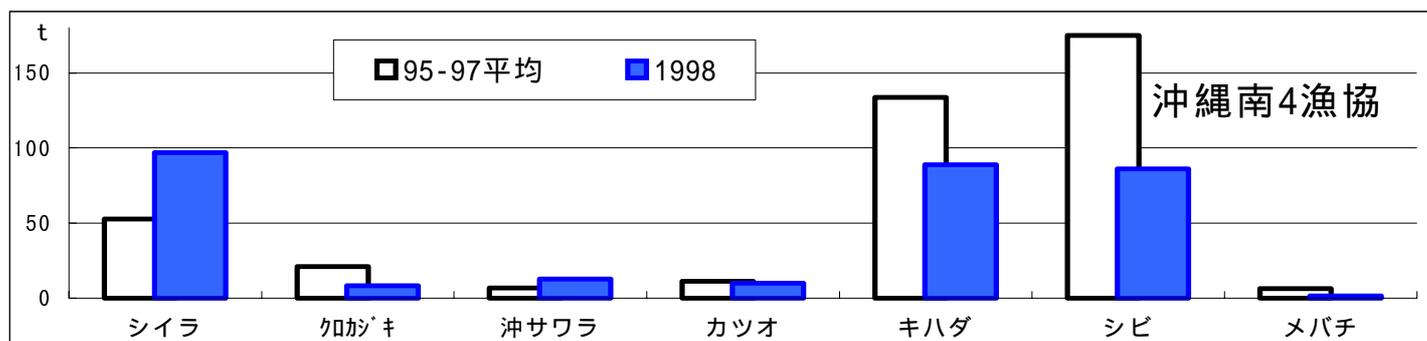
ファクシミリ 098-995-2357

ホームページ <http://www.fish.pref.okinawa.jp>

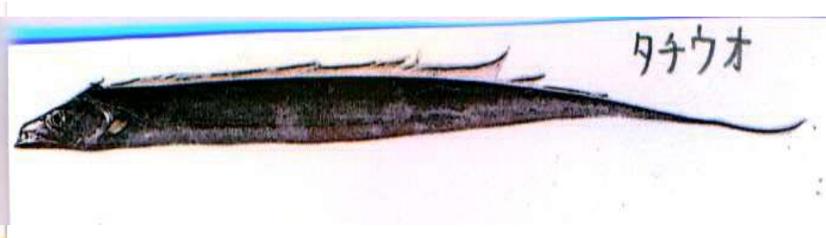
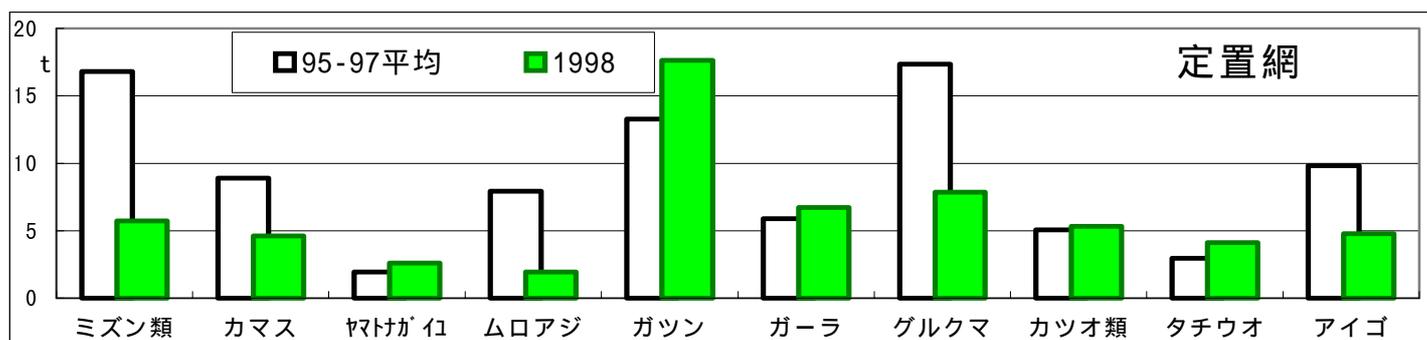
1998年上半期は、春に長雨、その後は高水温傾向が続きました。パヤオ漁業や定置網漁業等の漁獲の様子も例年と異なる状況が見られました。

沖縄島南のいくつかの観測点における4,6月の水温は、過去3年と比べると、表層で約1℃、100m層で約0.5℃高く推移しました。沖縄島北西のPN線における1-3月の黒潮流量は、過去3年と比べ約4%多く流れていました。

下の2つの図は、沖縄島南の4つの漁協（糸満、港川、知念、沖縄市）と伊良部漁協における1998年1-6月の漁獲量を過去3年（伊良部は昨年）と比較したものです。

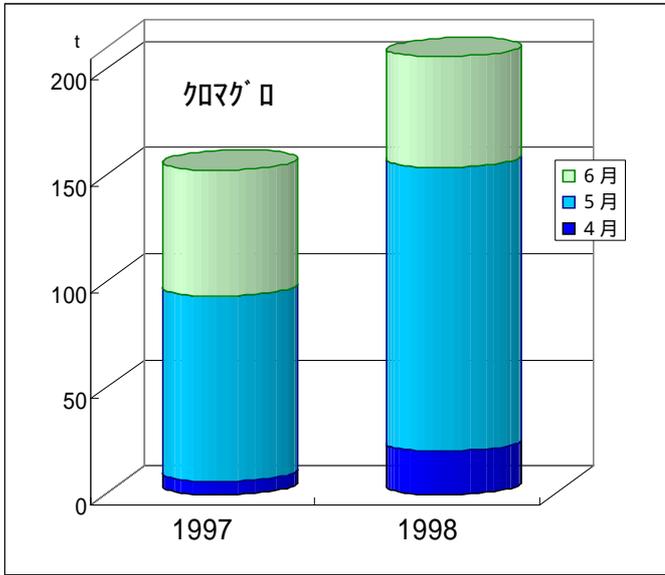


下の図は、読谷、知念、勝連、石川、与那城、金武漁協の1998年1-6月の漁獲量を、過去3年と比較したものです。

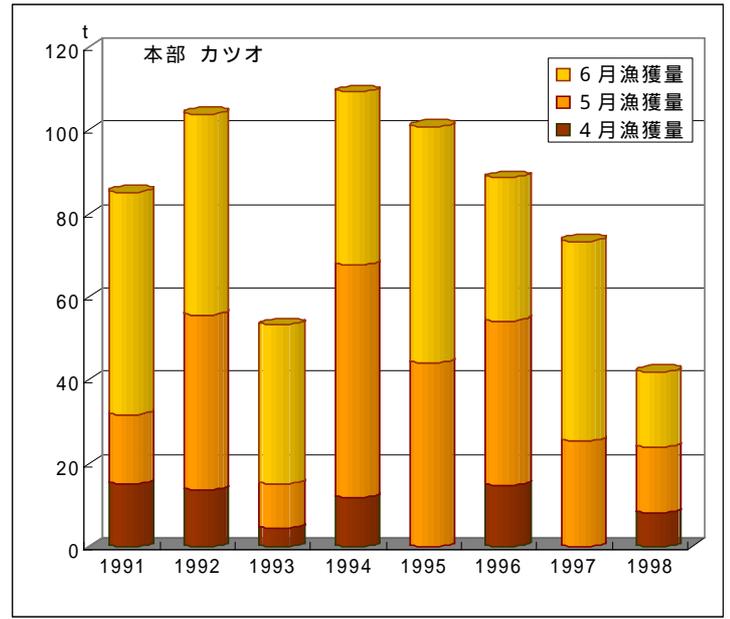


その2

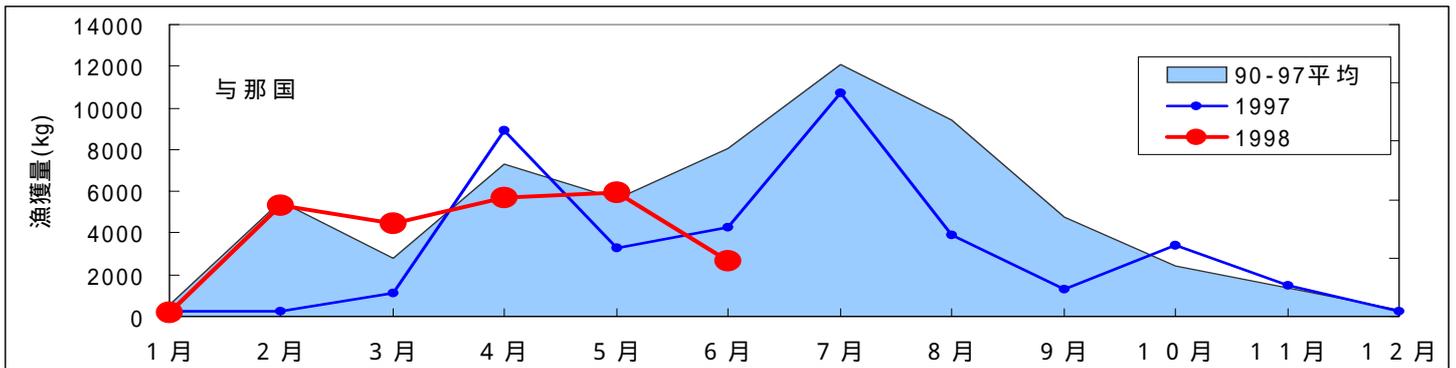
左の図は、1998年4-6月の那覇地区漁協、近海鮪漁協のクロマグロの水揚げを昨年と比較したものです。今年は5月に多く漁獲されました。



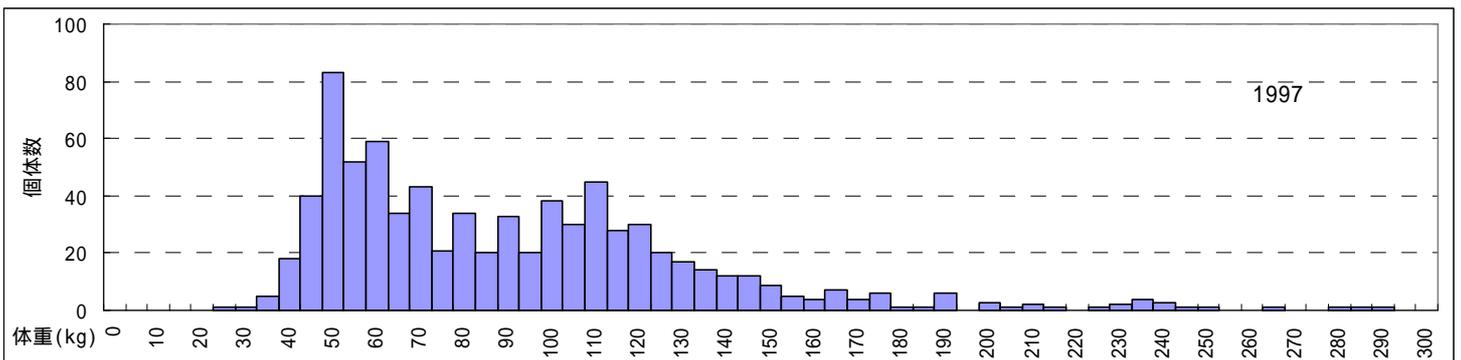
右の図は、本部漁協における4, 5, 6月のカツオ水揚げの推移です。カツオの盛漁期は7, 8月ですが、4-6月だけ見ると、最近減少傾向にあります。



下の図は、与那国漁協におけるクロカジキの月別漁獲量です。今年は昨年より漁が早く始まりました。



下の図は、1997年に与那国漁協に水揚げされたクロカジキの体重別個体数です。50kg付近は雄、100kg付近は雌が多いと言われています。



下の図は、1982年～1997年に与那国漁協に水揚げされたクロカジキの漁獲量とCPUE (1日当たり・1人当たり漁獲量) の推移です (1982-1986年は増田ほか(1989)より)。

